

主要施策の概要

子育て・教育 世界一のまちへ

【東部地域への子育て支援センターの設置】

予算額▶400万円

主に就園前の親子が気軽に集い、子育てに関する相談や支援を受けられる場として、これまで空白地域だった東部地域に子育て支援センターを設置します。



【全小学校における水泳授業の民間委託】

予算額▶2億9,700万円

天候に左右されず計画的に水泳授業を実施できる環境を整えるため、新たに完成する市民温水プールや民間プールを活用した水泳授業の民間委託を全小学校に拡大します。



縁あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ

【布ヶ池跡地の活用】

予算額▶11億8,300万円

箕面船場駅大前駅の西に位置する未利用地である布ヶ池跡地について、市が土地を取得して「みどりあふれる広場」の整備を目指し、その具体的な施設や整備手法を示す基本計画を策定します。

【箕面市アートプロジェクト】

予算額▶2,000万円

文化芸術を通じて、まちのブランド力をさらに高めるため、大阪・関西万博で展示されたパブリックアートを船場エリアに移設するとともに、アートと地域、まちづくりのつながりを深めるシンポジウムを開催します。



【学校給食費の無償化】

予算額▶9億5,100万円

学校給食にかかる家庭の経済的負担を軽減するため、国の交付金では不足する分や交付金対象外の中学校分については市が負担し、質の高い学校給食を維持しながら、全小中学校の給食費を無償化します。



【中学校部活動の「みのお地域クラブ活動」への転換】

予算額▶7,400万円

中学校部活動の「みのお地域クラブ活動」への転換を見据え、過渡期にある生徒や保護者の不安を軽減し、誰もが安心して参加できる環境を整備するため、みのお地域クラブに参加する生徒に対する会費補助を実施します。

【AI英語学習教材の導入】

予算額▶1,200万円

真に使える英語力を育むため、小学6年生及び中学2・3年生を対象に、AIとの会話機能などを活用して個々のレベルに応じた学習ができ、家庭学習などの時間にも取り組むことができるAI英語学習教材を導入します。

【自習室の夜間開室時間の拡大】

予算額▶400万円

子どもたちが安心して学べる環境をより充実させるため、自習室の夜間利用のニーズにも対応できるよう、中央図書館と東図書館の夜間開室時間を拡大します。

令和8年度も「子育て・教育 世界一のまちへ」「縁あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ」「便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ」の3つの基本政策により、さまざまな取り組みを進めています。ここでは、その中でも重点的に取り組む事業を予算額とともにご紹介します。

(仮称)新みのおサンプラザ1号館の整備・駅前空間の再整備

予算額▶8億1,200万円

令和9年度末の(仮称)新みのおサンプラザ1号館のオープンに向け、1階から3階部分の内装設計を進め、内装工事に着手します。

箕面駅前アーケードやロータリーのリニューアル設計を進め、箕面の玄関口として魅力ある駅前空間の創出を目指します。



【市制施行70周年事業】

予算額▶1,200万円

市制施行70周年という記念すべき年を市民の皆さまと分かち合うため、令和8年12月1日に「東京建物 Brillia HALL 箕面」大ホールで記念式典を開催します。

「本のまち箕面」を掲げ、図書館の貸出冊数日本一を目指し、読書に親しむ取り組みを進めるため、市制施行70周年記念事業において、著名作家による講演会を実施します。

【福祉人材の確保】

予算額▶600万円

福祉人材不足の解消に向け、市内事業所に勤務する方を対象に、介護職員初任者研修の受講費用相当額を最大7万円補助するとともに、一定の就労を行った後には15万円の就職応援金を支給することで、大阪府内最高額の補助を実現します。



便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ

【バス路線網の最適化・交通格差の解消】

予算額▶2億1,500万円

市民の声を反映した新たなバス路線網の運行開始に加え、地域間の交通格差解消に向け、止々呂美・箕面森町地域の住民を対象に、箕面グリーンロード通行料の助成や阪急バスの高齢者専用定期券「はんきゅううランドバス70」の購入助成を実施します。



【AIオンデマンド交通の収支改善】

予算額▶6,600万円

箕面・新稻地域と粟生間谷・彩都地域周辺で実証運行中のAIオンデマンド交通「のるーと箕面」について、収支改善策を講じるとともに、上半期にその効果検証を行い、今後の方針を見極めます。

【林野火災及びリチウムイオン電池による火災への対策】

予算額▶3,400万円

林野火災への備えとして、資機材の新規整備や増強、小型資機材搬送車両の配備、熱中症対策用資機材の導入を行います。

リチウムイオン電池による火災への対応として、令和9年4月のリチウムイオン電池や段ボール等の古紙類の全戸収集開始に併せて、環境クリンセンターのストックヤード増設に向けた設計や場内整備を進めます。



【重度障害者のための生活介護事業所の整備】

予算額▶7億7,000万円

「あかつき園」の建て替えについては、令和9年4月の開所を目指して工事を進めるとともに、「(仮称)ワークセンター小野原」については、必要定員数の再検証結果を踏まえ、令和10年の開所を目指します。

箕面市誕生

